改訂日　2022.11.1

安全データシート（ＳＤＳ）

1.　製品および会社情報

製　品　名	：	スタッコ ウルトラモルタル・ＨＱ
会　社　名	：	菊水化学工業株式会社
住　　所	：	滋賀県湖南市石部口３－１－１
担当部門	：	技術部　無機土木技術グループ
電話番号	：	0748-77-3155
ＦＡＸ番号	：	0748-77-4501

2.　危険有害性の要約

【ＧＨＳ分類】

引火性液体	：	区分に該当しない
急性毒性　経口	：	区分に該当しない
経皮	：	分類できない
吸入	：	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	：	区分１
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	：	区分１
呼吸器感作性	：	区分１
皮膚感作性	：	区分１
生殖細胞変異原性	：	分類できない
発がん性	：	区分１Ａ
生殖毒性	：	分類できない
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	：	区分１（呼吸器系）、区分３（気道刺激性）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	：	区分１（呼吸器系、腎臓）
誤えん有害性	：	分類できない
水生環境有害性 短期（急性）	：	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	：	分類できない

物理化学的危険性で記述のない項目は対象外です。

【絵表示】

【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
臓器（呼吸器系）の障害
長期に渡る、又は反復ばく露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害
呼吸器への刺激性の恐れ（気道刺激性）
発がんのおそれ

【注意書き】

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を密閉して涼しい所／換気の良い場所で施錠して保管すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
保護手袋／保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
粉塵／フューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

3.　組成、成分情報

単一製品・混合物の区別　：　混合物
化 学 名　：　特殊セメント

成　分	含有量	化学式	化審法番号	CAS №.	PRTR 法	労安法(表示・通知対象物)
特殊セメント	40～50%			65997-15-1	非該当	該当（545-2）
		$3CaO・SiO_2$,$2CaO・SiO_2$	1-194			
		$3CaO・Al_2O_3$	9-2408			
		$4CaO・Al_2O_3・Fe_2O_3$				
		$CaSO_4・2H_2O$	1-193			
特殊スラグ	50～60%	SiO_2	1-548	14808-60-7	非該当	該当（165-2）
		MgO	1-465	1309-48-4	非該当	非該当
		FeO	1-357	1345-25-1	非該当	該当（192）
		CaO	1-189	1305-78-8	非該当	該当（190）
		Al_2O_3	1-23	1344-28-1	非該当	該当（189）
アクリル系粉末樹脂	1～2%		登録あり	登録あり	非該当	非該当
その他	1～2%					

※特殊スラグのシリカ（SiO_2）は、結晶質シリカを微量（0.1%以上）含む可能性がある

4.　応急措置

吸 入 し た 場 合　：　被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が止まっている場合、および呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合　：　付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。

目 に 入 っ た 場 合　：　直ちに大量の清浄な水で１５分以上洗う．洗眼の際、まぶたをよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲 み 込 ん だ 場 合　：　水でよく口を洗わせ、直ちに医師の診断を受ける。意識のない被災者には何も与えてはならないし、無理に吐かせてもならない。

応急措置をする者の保護　：　救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

5.　火災時の措置

消　　火　　剤　：　不燃性。包装が燃えた場合は一般的な消火方法でよい。

特 定 の 消 火 方 法　：　火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火を行う者の保護　：　消火作業の際は有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具等を着用し、消火作業は風上から行う。

6.　漏出時の措置

人体に対する注意事項　：　漏出した場所の周辺への関係者以外の立入りを禁止する。作業の際には保護具を着用して、粉塵の吸入や皮膚への接触を防止する。
環境に対する注意事項　：　流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除　去　方　法　：　発塵に注意しながら容器に回収する。

7.　取扱い及び保管上の注意

取扱い　：
技術的対策　：　局所排気装置等を設け，通気の良い場所で作業する。
漏れ、あふれ、飛散等がないように注意して取扱う。
保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等の保護具を着用し、暴露を防止する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
注 意 事 項　：　漏れ、あふれ、飛散などによる作業場の汚れを防止する。
取扱い場所には、関係者以外の立入を禁止する。
保管　：
適切な保管条件　：　水濡れ、吸湿しないように注意をする。
屋内貯蔵を原則とする。
施錠をして保管する。

8.　暴露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度
(酸化ニッケル(II))
作業環境評価基準(2009) <= 0.1mg-powder Ni/m^3
(モノ酸化マンガン)
作業環境評価基準(2021) <= 0.05mg-Mn/m^3
許容濃度
(酸化クロム(III))
日本産衛学会(1989) 0.5mg-Cr(III)/m3
(酸化ニッケル(II))
日本産衛学会(2011) 0.01mg-Ni/m3 (水溶性化合物);
0.1mg-Ni/m^3 (水溶性でない化合物)
(ニッケル)
日本産衛学会(1967) 1mg/m^3
(モノ酸化マンガン)
日本産衛学会(2021) 0.02mg-Mn/m^3 (吸入性粉塵); 0.1mg-Mn/m^3 (総粉塵)
(ポルトランドセメント)
ACGIH(2010) TWA: 1mg/m^3(E,R) (肺機能; 呼吸器症状; 喘息)
(酸化カルシウム)
ACGIH(1990) TWA: 2mg/m^3 (上気道刺激)
(酸化アルミニウム)
ACGIH(2008) TWA: (非溶性化合物) 1mg-Al/m^3(R) (じん肺症、下気道刺激、神経毒)
(酸化クロム(III))
ACGIH(2018) TWA: 0.003mg-Cr(III)/m^3(I) (気道刺激; 喘息)

(酸化ニッケル(II))
ACGIH(1998) TWA: 0.1mg-Ni/m^3(I) (肺損傷; 鼻がん) (可溶性化合物)
TWA: 0.2mg-Ni/m^3(I) (肺がん) (不溶性化合物)
(ニッケル)
ACGIH(1998) TWA: 1.5mg-Ni/m^3(I) (皮膚炎; じん肺症)
(モノ酸化マンガン)
ACGIH(2013) TWA: 0.02mg-Mn/m^3(R);
TWA: 0.1mg-Mn/m^3(I) (中枢神経系障害)

特記事項
(酸化クロム(III))
皮膚感作性; 呼吸器感作性

ばく露防止

設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具
保護手袋を着用する。

眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9.　物理的及び化学的性質

物理的状態 、形状 、色 ：	灰色粉末
臭い ：	特になし
ｐＨ ：	データなし
融点・凝固点 ：	データなし
沸点、初留点及び沸点範囲 ：	データなし
引火点 ：	なし
爆発範囲 ：	なし
蒸気圧 ：	データなし
蒸気密度 ：	データなし
比重 ：	データなし
溶解度 ：	不溶／水
オクタノール／水分配係数 ：	データなし
自然発火温度 ：	なし
分解温度 ：	データなし

10.　安定性及び反応性

安定性 ：	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性 ：	データなし。
避けるべき条件 ：	湿度、水濡れ。
混触危険物質 ：	データなし。
危険有害な分解生成物 ：	データなし

11.　有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

急性毒性(経口）の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

[日本公表根拠データ]

(シリカ)

rat LD50 >3300mg/kg, >2000mg/kg et al. (ECETOC JACC, 2006; SIDS, 2006)

(酸化カルシウム)

rat LD50=5000mg/kg (食品安全委員会添加物評価書, 2013)

急性毒性（経皮）

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

急性毒性(経皮）の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

[日本公表根拠データ]

(シリカ)

rabbit LD50 >2000mg/kg, >5000mg/kg (ECETOC JACC, 2006; SIDS, 2006)

急性毒性（吸入）

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

急性毒性(吸入）の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

労働基準法：疾病化学物質

酸化ニッケル(II); ニッケル; モノ酸化マンガン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[pH に基づく分類根拠]

11.5 <= pH であることから、皮膚腐食性/刺激性：区分 1 に分類した。

[日本公表根拠データ]

(酸化カルシウム)

皮膚刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[pH に基づく分類根拠]

11.5 <= pH であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1 に分類した。

[日本公表根拠データ]

(シリカ)

ラビット 回復性の眼刺激性 (SIDS, 2006; ECETOC JACC, 2006)

(酸化カルシウム)

重度のやけど (ACGIH 7th, 2001)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[成分情報を用いた分類根拠]

区分 1 に分類される成分

酸化クロム(III); 酸化ニッケル(II); ニッケル

区分 1 >= 1% であるため、区分 1 に分類した。

[日本公表根拠データ]

(酸化クロム(III))

cat. 1; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1989

(酸化ニッケル(II))

cat. 1; 産衛学会, 2008

(ニッケル)

cat. 1; MAK/BAT No43, 2007

皮膚感作性

[成分情報を用いた分類根拠]

区分 1 に分類される成分

ニッケル; 酸化ニッケル(II); 酸化クロム(III)

区分 1 >= 1% であるため、区分 1 に分類した。

[日本公表根拠データ]

(酸化クロム(III))

cat. 1; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1989

(酸化ニッケル(II))

cat. 1; 産衛学会, 2008

(ニッケル)

cat. 1; NITE 初期リスク評価書 ver. 1.0, No. 69, 2008

生殖細胞変異原性

[成分情報を用いた分類根拠]

生殖細胞変異原性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

発がん性

[成分情報を用いた分類根拠]

区分 1A に分類される成分

シリカ; 酸化ニッケル(II)

区分 2 に分類される成分

ニッケル

区分 1A >= 0.1%であるため、区分 1A に分類した。

[日本公表根拠データ]

(無晶シリカ)

cat.1A; (ECETOC JACC No. 51, 2006)

(酸化ニッケル(II))

cat.1A; Gr. 1 (IARC 49, 1990 et al.)

(ニッケル)

cat.2; IARC Gr .2B (IARC, 1990 et al.)

[IARC]

(無晶シリカ)

Group 3： ヒトに対する発がん性については分類できない

(酸化クロム(III))

Group 3： ヒトに対する発がん性については分類できない

(酸化ニッケル(II))

Group 1： ヒトに対して発がん性がある

(ニッケル)

Group 2B： ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(ポルトランドセメント)

A4(2010)： ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化アルミニウム)

A4(2008)： ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化クロム(III))

A4(as Cr(III))(2018)： ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化ニッケル(II))

A1(as Ni)(1998)： 確認されたヒト発がん性因子

(ニッケル)

A5(1998)： ヒト発がん性の疑いはない

(モノ酸化マンガン)

A4(as Mn)(2013)： ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]
(酸化ニッケル(II))
第 2 群 B：ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
(ニッケル)
第 2 群 B：ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
第 1 群：ヒトに対して発がん性があると判断できる物質
[EU]
(酸化ニッケル(II))
Category 1A; ヒトに対する発がん性が知られている物質
(ニッケル)
Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質
労働基準法 ： がん原性化学物質
ニッケル

生殖毒性
[生殖毒性：成分情報を用いた分類根拠]
生殖毒性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分)： 成分情報を用いた分類根拠]
授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
[成分情報を用いた分類根拠]
区分 1 に分類される成分
ニッケル; 酸化カルシウム
区分 3 (気道刺激性) に分類される成分
ポルトランドセメント; 無晶シリカ; 酸化アルミニウム
10% > 区分 1 >= 1%であるため、区分 2 に分類した。
区分 3 (気道刺激性) に分類される成分を合計で 20%以上含むため、
区分 3 (気道刺激性) に分類し た。
[区分 1]
[日本公表根拠データ]
(酸化カルシウム)
呼吸器 (PATTY 4th, 1993)
[区分 3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(ポルトランドセメント)
気道刺激性 (ACGIH 7th, 2010)
(シリカ)
気道刺激性 (SIDS, 2006; ECETOC JACC, 2006)
(酸化アルミニウム)
気道刺激性 (ICSC, 2000)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
[成分情報を用いた分類根拠]
区分 1 に分類される成分
シリカ; 酸化カルシウム; 酸化クロム(III); 酸化ニッケル(II);
酸化アルミニウム; ポルトランドセメント; ニッケル
区分 1 >= 10%であるため、区分 1 に分類した。
10% > 区分 1 >= 1%であるため、区分 2 に分類した。
[区分 1]
[日本公表根拠データ]
(ポルトランドセメント)

呼吸器（ACGIH 7th, 2010）
(シリカ)
呼吸器、免疫系、腎臓（ACGIH 7th, 2006）
(酸化カルシウム)
呼吸器（ACGIH 7th, 2001）
(酸化アルミニウム)
肺；吸入（EHC, 1997）
(酸化クロム(III))
呼吸器（環境省リスク評価第 8 巻, 2010; CICAD 76, 2009）

誤えん有害性
[成分情報を用いた分類根拠]
誤えん有害性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

その他情報
この調合製品自体のデータは得られていない。

12.　環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性　短期(急性)
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠]
短期（急性）区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[日本公表根拠データ]
(酸化カルシウム)
魚類（コイ）LC50=1070mg/L/96hr（IUCLID, 2000）
(酸化ニッケル(II))
甲殻類（オオミジンコ）EC50 > 100mg/L/48hr（IUCLID, 2000）

水生環境有害性　長期(慢性)
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠]
区分 4 に分類される成分
酸化ニッケル(II)
区分 1、区分２、区分 3、または区分４のいずれにも分類されないため、区分に該当しない。

水溶解度
(酸化カルシウム)
0.12 g/100 ml（HSDB, 2004）
(酸化クロム(III))
溶けない（ICSC, 2004）
(酸化ニッケル(II))
溶けない（CERI･NITE 有害性評価書(暫定版), 2006）
(酸化アルミニウム)
溶けない（ICSC, 2000）
(ポルトランドセメント)
反応する（ICSC, 2001）
(ニッケル)
溶けない（ICSC, 2001）

残留性・分解性
残留性・分解性データなし

生体蓄積性
生体蓄積性データなし

他の有害影響

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

13.　廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報　廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
環境汚染を防止するために適切な容器等を使用する。

14.　輸送上の注意

注意事項　：　水濡れ、破袋に注意し、荷崩れ等の防止を確実に行う。
国連分類　：　分類に該当しない。
国連番号　：　なし

15.　適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

労働安全衛生法

粉じん障害防止規則（令 19 号）

酸化アルミニウム; シリカ; ポルトランドセメント; ニッケル

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

酸化クロム(III); 無晶シリカ; 酸化アルミニウム; 酸化カルシウム; 酸化ニッケル(II); ポルトランドセメント

名称通知危険/有害物

酸化クロム(III); 無晶シリカ; 酸化アルミニウム; 酸化カルシウム; 酸化ニッケル(II); ニッケル; ポルトランドセメント; モノ酸化マンガン

化学物質管理促進(PRTR)法(令和 5 年 3 月 31 日まで有効)

特定第 1 種指定化学物質

ニッケル化合物(ニッケルとして)(<0.24%)

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

じん肺法

無晶シリカ; ポルトランドセメント; ニッケル; 酸化アルミニウム

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ニッケル

有害大気汚染物質/優先取組

酸化クロム(III); 酸化ニッケル(II); モノ酸化マンガン

水質汚濁防止法

指定物質

酸化アルミニウム; 酸化ニッケル(II); ニッケル; 酸化クロム(III); モノ酸化マンガン

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。

16.　その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第 62 版（2021 年）
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7253：2019
Supplier's data/information

責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わされたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。
ここに示す情報は誠意をもって作成していますが、明記があるにしても保証はありません。これ以上の情報については当社にご相談ください。
この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和 2 年度（2020 年度）)です。

以上